

令和4年度 江の川上流水害タイムライン 第3回検討会説明資料

江の川上流水害タイムライン（令和5年度版（案））の確認

令和4年3月

次第

- 検討会の目的：**第2回検討会後に実施した意見照会結果を共有し、令和5年度版のタイムライン（案）の確認を行う。**

1 検討会の位置づけ

2 意見照会結果の共有

- ①第2回検討検証テーマに関する意見照会結果
- ②タイムライン（令和4年度版）に関する意見照会結果

3 江の川上流水害タイムライン（令和5年度版（案））について

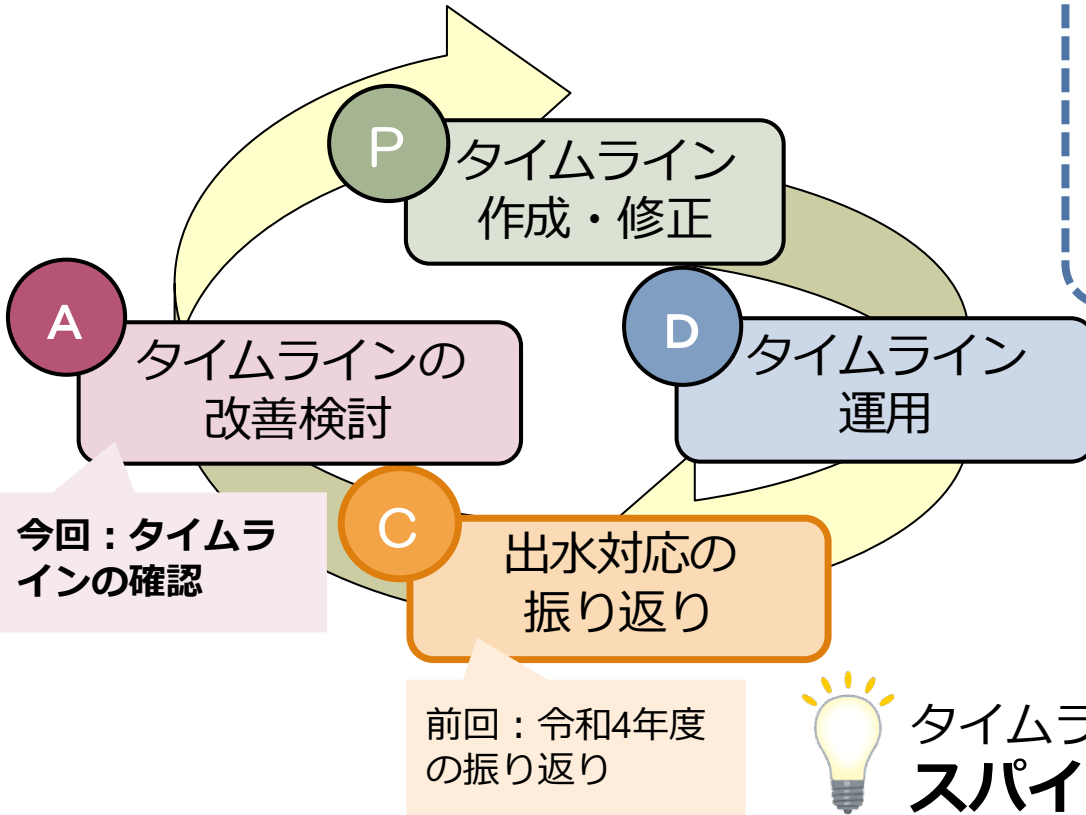
4 今後のスケジュール

1. 検討会の位置づけ

- 令和3年度出水対応に対する振り返り結果を踏まえた**タイムラインの改善の方向性**と、意見照会結果を反映した「**江の川上流水害タイムライン 令和4年度版（案）**」について確認する。

江の川上流水害タイムラインとは？

江の川上流の防災に係わる関係機関が連携して、災害時に、「いつ」「誰が」「何をするか」に着目して策定した行動計画であり、「逃げ遅れゼロ」「社会経済被害の最小化」を目指した計画である。



タイムラインは、**PDCA**により
スパイラルアップしていくことが重要

2. 意見照会結果の共有

- 第2回検討会は書面開催とし、参加期間への資料配布とタイムラインの改善のための検証テーマに関する意見照会を実施した。

送付資料

- ・ 令和4年度 江の川上流水害タイムライン第4回検討会説明資料
- ・ 江の川上流水害タイムライン<令和4年度版案> (詳細版)
- ・ (別紙)江の川上流水害タイムライン第2回検討会 意見照会回答用紙

意見照会

テーマ1～3に関する意見や不明な点について回答を依頼

令和4年12月23日～令和5年1月16日

- その後、令和5年度版タイムラインの作成に向けて、令和4年度版タイムラインに関する修正・変更について意見照会を実施した。

送付資料

- ・ 江の川上流水害タイムライン (令和4年度版) 詳細版

意見照会

各機関の出水期振り返りにより挙げられたご意見・ご要望、その解決策や各機関のマニュアル等との整合性を図った上で、タイムラインを確認・修正

令和5年1月5日～令和5年2月3日

① 第2回検討検証テーマに関する意見照会結果

- タイムラインの改善のための課題と検証内容から、以下の3つのテーマについて**参加機関への意見照会**を行った。

テーマ 1

令和4年度の準備段階の出水対応について

- 令和3年度の出水時における教訓や、「最大級の警戒（台風14号）」への特別な対応について

テーマ 2

オンライン情報共有について

- 令和4年度のオンライン情報共有の実施状況と、今後の有効的な実施方法について

テーマ 3

タイムライン訓練の実施について

- タイムラインの想定シナリオに基づき、平常時から堤防決壊、外水氾濫発生までの被害のイメージと、各段階で発表される気象・防災情報を時系列で整理した動画を用いた訓練の実施について

2. 意見照会結果の共有 ①第2回検討検証テーマに関する意見照会結果 テーマ1：令和4年度の準備段階の出水対応について

Q1：令和3年度の出水被害（R3.8）を受けて、令和4年台風第14号（R4.9）の準備段階において特に留意した点や特別な対応があれば教えてください。

R3.8.14三次市・安芸高田市の浸水被害
(三次河川国道事務所)



主な回答

- **通常通りの対応を実施**
- **情報収集や機関内外の連携を強化**
 - 今後の降雨予測や予警報の発表見込みなどの**情報に注視**した
 - **早めに関係機関と連携**して協議した
 - 機関内で**注意喚起**を行い、**連絡体制を確立**した
 - 警報級の大雨が予想される場合と同様の**体制を確保**した
- **通常への対応の早期実施・体制強化**
 - **早期に避難情報を発令**した
 - **現地での対応が可能となる職員を配置**した
 - 施設の**サービスを中止**した
 - **施設利用者を避難**させた
 - **救助用備品を整備**した

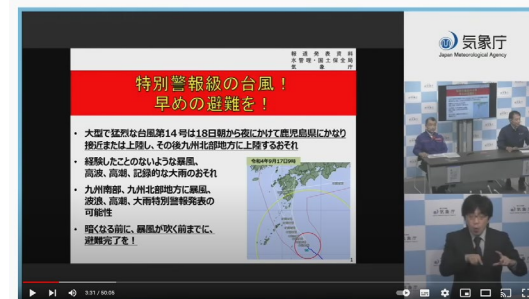
回答数
15/48

まとめ

回答機関の多くは、**出水経験や事前に発出された情報**を受けて**各機関の計画・マニュアルに沿った対応を的確に実施**しており、さらに必要に応じて**対応を早める、強化するなどの行動**をとっていたことがわかった。

2. 意見照会結果の共有 ①第2回検討検証テーマに関する意見照会結果 テーマ1：令和4年度の準備段階の出水対応について

Q2：台風第14号は、上陸前に急発達し、観測史上「最強」の上陸と見込まれたことから気象庁は緊急記者会見を実施し、**最大級の警戒**を呼びかけました。これを受けて、特に留意した点や特別な対応があれば教えてください。



気象庁による緊急記者会見の様子 (9/17 11:00)

主な回答

- **通常通りの対応を実施**
- **情報収集や機関内外の連携を強化**
 - 大雨警報発令前から警戒体制を整えることができた
 - 臨時幹部会議を実施し、早い段階から対応方針の検討・周知徹底を行った
 - 早めに関係機関と連携し、対応を協議できた
 - 気象情報を確認しながら災害の発生に備えた
- **通常への対応の早期実施・増員**
 - 防災情報を市民へ周知し、早期に避難情報を発令した
 - 現地対応を実施した
 - 施設のサービスを中止した
 - 福祉避難所を開設した
 - 施設点検を実施した
 - 強風による飛来物を警戒し、資機材を用意した
 - 災害対応者を増員し、体制を強化した

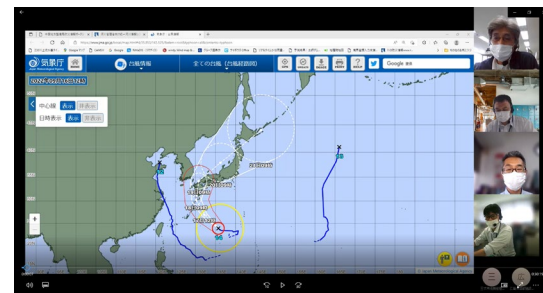
回答数
18/48

まとめ

多くの機関が、气象台からの「最大級の警戒」の呼びかけを受けて各機関の計画・マニュアルに沿った対応を的確に実施しており、さらに必要に応じて対応を早める、強化するなどの行動をとっていたことがわかった。

2. 意見照会結果の共有 ①第2回検討検証テーマに関する意見照会結果 テーマ2：オンライン情報共有について

Q3：令和4年の出水対応では、**気象台、河川事務所、県、自治体の4者におけるオンライン情報共有**が行われました。該当機関の方は、オンライン情報共有（気象・河川状況の共有等）がどのように有益であったか教えてください。



オンライン情報共有の様子（R4.9）

主な回答

● 効果的と感じた点

- 水防勤務における意識付けとして有益であった
- 今後の対処方法をスムーズに検討することができた
- 降雨時の河川状況を可視化できるためとても良いと感じた
- お互いの顔が見える状況での意見交換は、**認識・危機感の共有**に繋がり有効と感じた

● やりにくいと感じた点

- 同時時間帯に別の会議が開催されており、参加できなかった
- 台風14号の対応では同日に県内3河川・国道事務所とのオンライン会議を実施しており、**開催時間の調整が必要**と感じた
- **対象地域を絞って開催**されれば、ピンポイントの情報を収集しやすい

回答数
7/48

まとめ

参加者からは**オンライン情報共有は効果的**と感じられる回答が多く得られた。但し、全機関が参加するには**会議時間の設定や他河川の会議との調整**が課題として挙げらる。

2. 意見照会結果の共有 ①第2回検討検証テーマに関する意見照会結果 テーマ2：オンライン情報共有について

Q4：上記該当機関以外のタイムライン参加機関のオンライン情報共有への参加について、参加希望や有効的な実施方法についてご意見あればお願いします。

主な回答

- 人員の状況によるが、可能であれば参加したい
- 重要な情報は速やかに伝えてもらいたい
- オンライン会議に参加するための設備がないため、内容については架電やFAXなどで伝えてもらいたい

回答数
3/48

まとめ

一部の機関から、**オンライン情報共有への参加や情報共有の希望**が挙げられた。但し、オンライン情報共有の内容について、**タイムライン参加機関にどのように伝えるか**が課題として挙げられる。

2. 意見照会結果の共有 ①第2回検討検証テーマに関する意見照会結果 テーマ3：タイムライン訓練の実施について

Q5：三次河川国道事務所では、江の川上流水害タイムラインで想定している最大想定規模の降雨における洪水被害の影響を可視化するために、**普段平常時の状況から堤防決壊、外水氾濫発生までの時系列の被害のイメージと、各段階で発表される気象・防災情報がタイムラインに沿って流れる動画**を作成しています。
このような動画を用いて、**実際の災害を想定した訓練の実施について**、参加希望や実施方法などご意見あればお願いします。

主な回答

- 動画を用いた訓練に参加したい
- 動画を活用することで**シチュエーション**を参加者間で共有しやすくなり、効果的と感じた
- **過去の災害を継承し、今後の災害の危険性**も伝えられると良いと感じた
- 訓練等により**定期的にタイムライン情報共有**を行っていくことが必要と感じた
- **災害の発生と対応について図面に整理する図上訓練**を実施してほしい
- 実災害を想定した訓練の実施方法については、**現地対応を行う機関の意見に配慮**してほしい
- 三次市大規模洪水想定訓練と同規模のものが望ましい
- 訓練はWEBで開催されれば参加しやすい

回答数
9/48

まとめ

実災害を想定した動画を用いた訓練の実施については概ね賛成の回答を得られた。但し、**訓練の規模や開催方法については参加機関の要望を踏まえて調整**をする必要がある。

2. 意見照会結果の共有 ②タイムライン（令和4年度版）に関する意見照会結果 タイムラインの修正箇所一覧

項目No.	新項目No.	防災行動項目			実施状況チェック欄		役割										項目No.	備考	
		第1階層 (行動種別)	第2階層 (行動項目)	第3階層 (行動手段・手順)	開始時刻	終了時刻	大規模避難・救助					福祉避難	社会基盤 (土木)	項目No.	備考				
							広島県危機管理課	広島県警察本部	三次警察署	安芸高田警察署	備北地区消防組合消防本部	安芸高田市消防本部	社会福祉法人水明会			広島県道路河川管理課			広島県北部建設事務所
41	41	防災備蓄品の確認		<input type="checkbox"/>														41	レベル0 (2日前準備)
61	61	体制の構築	機関内防災体制の構築	<input type="checkbox"/> 機関内体制の構築 (連絡体制の構築、全署員準備等も含む)														61	レベル1
62	削除			<input type="checkbox"/> 連絡体制の構築														62	
63	削除			<input type="checkbox"/> 全署員準備														63	
99	97	情報の収集	自治体情報の収集	<input type="checkbox"/> 自治体体制状況の確認														99	レベル2
120	118	体制の構築	機関内防災体制の構築	<input type="checkbox"/> 体制の調整・検討 (勤務者以外の自宅待機や全署員準備等含む)														120	
121	削除			<input type="checkbox"/> 勤務者以外の自宅待機														121	
122	削除			<input type="checkbox"/> 全署員準備														122	
追加	119			<input type="checkbox"/> 水防勤務の実施 (洪水注意報時)															
追加	120			<input type="checkbox"/> 水防勤務の実施 (大雨注意報時)															
123	121			<input type="checkbox"/> 水防勤務の実施 (大雨警報時)														123	
124	122			<input type="checkbox"/> 一部対策組織の設定														124	
138	136	施設利用者支援	自治体との連絡	<input type="checkbox"/> 自治体災害対策本部との連携														138	
147	145	救援・救助	救出活動の実施	<input type="checkbox"/> 消防団へ出動依頼														147	
230	228	体制の構築	災害対策本部の設置	<input type="checkbox"/>														230	レベル3
253	251	救援・救助	救援・救助活動の実施	<input type="checkbox"/> 消防団へ出動依頼														253	
380	378	点検・巡視	管理施設の点検・巡視	<input type="checkbox"/> 点検・巡視の実施														380	レベル4
418	416	報道対応	道路交通情報の報道	<input type="checkbox"/>														418	
482	480	点検・巡視	管理施設の点検・巡視	<input type="checkbox"/>														482	レベル5
515	513	報道対応	道路交通情報の報道	<input type="checkbox"/>														515	
529	527	復旧対応	緊急復旧対応	<input type="checkbox"/> 排水ポンプ車での排水活動実施														529	レベル5 (復旧初期段階)

• No62と63をNo61に統合したほうが良いと
のことで修正 (安芸高田消防署)

※ 警察3機関の整合性は
個別確認し表記を統一

• 洪水注意報、大雨注意報時にも水防勤務を実施するため行動項目の追加 (広島県道路河川管理課)

• No121と122をNo120に統合したほうが良いと
のことで修正 (安芸高田消防署)

3. 江の川上流水害タイムライン 令和5年度版（案）について



① タイムライン【概要版】

- ▶ 詳細版のうち各機関の主な行動項目のみを抜粋して表示
- ▶ タイムラインレベルごとの各機関の動きを1枚で俯瞰的に把握することが可能

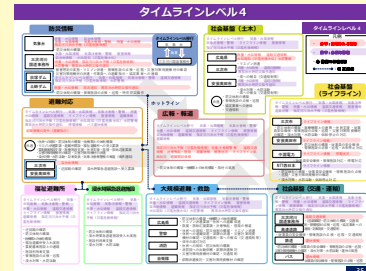
② タイムライン【詳細版】

- ▶ 各機関で抽出された全ての行動項目をタイムラインレベルに沿って記載
- ▶ 行動項目を第1階層（大項目）～第3階層に分類
- ▶ 各行動項目の役割分担を明確化

- ▶ 災害対応時にはチェックリストとしての活用が可能

⑤ タイムライン【解説版】

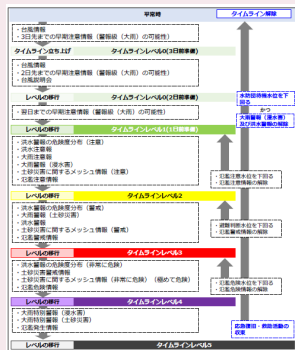
- ▶ 江の川上流水害タイムラインの概要・特徴を記載
- ▶ タイムラインレベルごとに、各機関の主たる行動項目や情報発信・伝達の流れを表示
- ▶ 災害の状況に応じた自機関の対応すべき行動と他機関の行動を俯瞰的に把握することが可能



③ タイムライン運用方法

- ▶ 台風や前線に対するタイムラインの立上げ・移行基準や、メーリングリストを利用した情報発信等を記載
- ▶ タイムラインを運用する際に活用

江の川上流水害タイムライン運用方法
<令和5年度版>



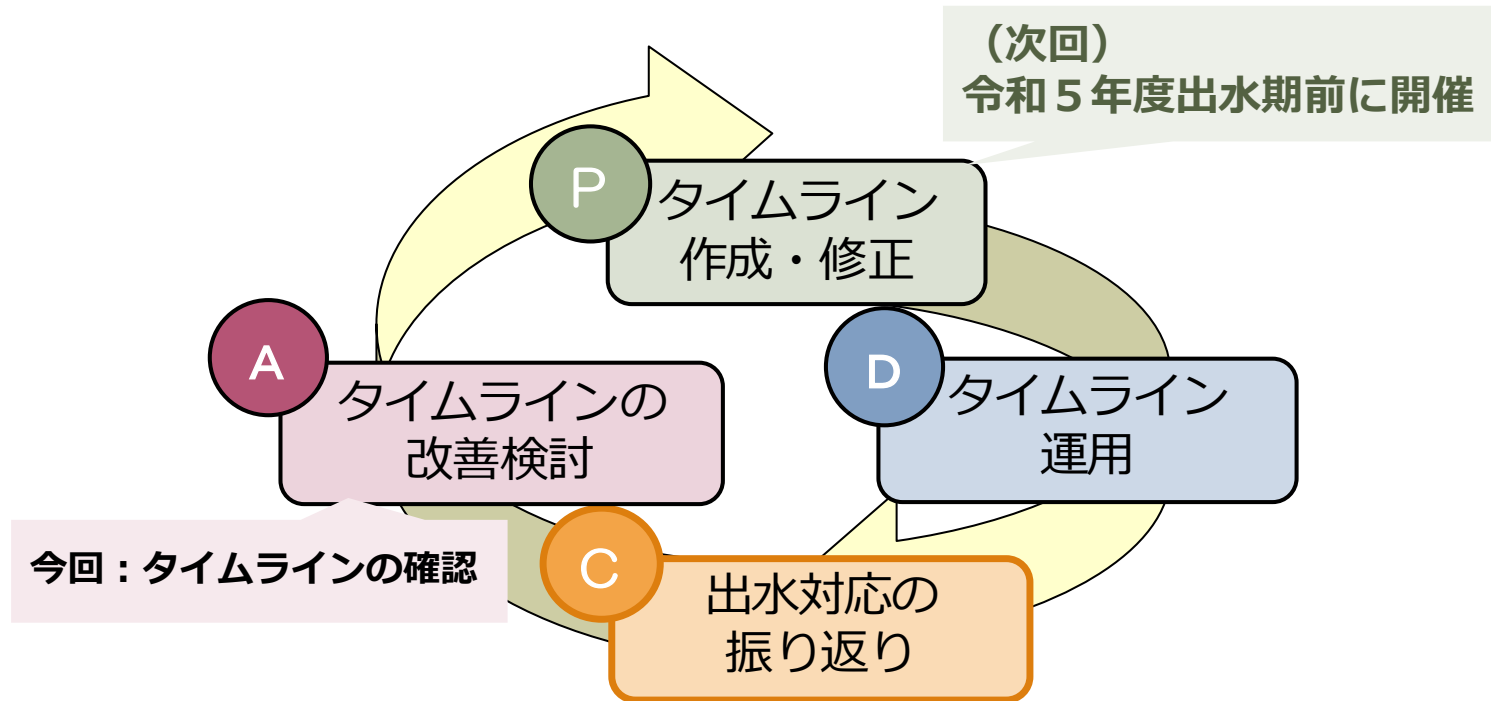
江の川上流水害タイムライン検討会

④ タイムラインポータルサイト

- ▶ タイムライン参加機関が所有する情報を一元的に集約
- ▶ タイムラインに基づく防災行動を行う上で必要な情報の確認に活用

4. 今後のスケジュール

- 本検討会を踏まえ、各機関において令和4年出水期に向けた備えをお願いします。
- 年度明けに**担当者が異動となる場合はタイムラインに関する引継ぎ**をお願いします。また、**連絡先が変更になる場合は三次河川国道事務所までご連絡**をお願いします。



引き続きよろしくお願いいたします。